乙訓歯科医師会から健康教室

Dental Association Otokuni

『平成から令和への歯科事情』

「お口の健康」関心高まる

定期受診で「8020」実現を

先日、初めて訪問診療に伺った方の奥様からお聞きしたお話です。「主人も私も、若いころから定期的にかかりつけの歯科医院で点検とお掃除をしてもらってきました。おかげで入れ歯のお世話になることもなく、自分の歯で具合よくお食事ができてきました。ただ、近頃足が悪くなって、タクシーで通うことも難しくなって困っていたところ、ケアマネジャーさんが、ご自宅にも歯科の先生や歯科衛生士さんが来てくれますよと紹介していただいて、早速お願いしたのです。」と。

この奥様のお話、現代の歯科事情が凝縮されたお話でした。平成の初めから歯科医師会が行っていた、80歳で20本の自分の歯を残そうという8020（ハチマルニーマル）運動。運動開始当初、その達成率は10パーセントに満たなかったのですが、平成28年度の調査では、推定値ではありますが51.2パーセントとなっています。

現在の日本では80歳の半数を超える方が20本以上の自分の歯でお食事をされているのです。このような劇的な達成率の上昇は、国民のお口の健康に対する意識の向上が大きく影響したと考えられますが、具体的にはこのご夫婦のようにかかりつけの歯科医院に定期的に受診される方の増加が重要な要素だと考えています。

ただ、私たちの願いは、80歳で20本がゴールではありません。せっかく残った歯をあと10年20年と生涯維持していただかなくてはならないのです。そしてもちろん、残念ながら多くの歯を失ってしまわれた方にも、生涯美味しくお食事をしていただけるように、我々はより一層の努力が必要だと考えています。

また、奥様のお話にケアマネジャーさんという言葉が出てきました。現在、市町村は、高齢になられた後も住み慣れた場所で自分らしい暮らしを続けていただけるようにと、地域包括ケアシステムを整備しています。その方に必要な医療、介護、保健活動などケアマネジャーさんを含む多くの職種の人が協力し支えあっていくことが大切だと考えています。

その一翼を担うべく、歯科医師、歯科衛生士も積極的に通院が困難になられた方のもとに訪問診療をさせていただきたいと思っております。

乙訓歯科医師会は、昭和24年、京都府歯科医師会乙訓支部として始まり、今年70周年を迎えることとなります。これまでも地域の皆様の健康を守るべく活動をしてまいりましたが、これからも時代の要請に応えられるように努力させていただくことをお約束いたします。

（乙訓歯科医師会
会長　岩佐勝也）

乙訓歯科医師会ホームページ　http://www.kda8020.or.jp/otokuni/